

▶特集I——いま青年が問う敗戦70年の「美つ国」

韓国の若者と広島で考えたこと
『戦後』が潰されようとしている
僕と戦後の下半期
アンカーでありたい
蝸牛の国から
強い言葉を持ち、抗いたい
押し潰される
戦後日本の核心にむきあうということ
順逆の弁証法
沖縄戦や特攻の悲劇に涙ではなく怒りを

お茶の水女子大学
応用社会学コース
黒川りお 2
崔悠純 3
H O W S
外国語学部一年
斉藤光太郎 5
戦後文学ゼミ生
金 勇 大 6
教育学部准教授
金 山 裕 宜 9
自営業
月刊イオ編集部
黄 理 愛 10
歌人
加部洋祐 12
むさしの科学と
戦争研究会
五朗丸聖子 13
塾講師
伊賀瀬雪 15
国公労連
藤本愛子 16

▶労働者通信——労働・生活・闘争の現場から

あなたに託したんだよ
戦争体験の聞き書き「座間味旅日記」によせて
労組の中で、そして枠を超えて
J P 労組全国大会会場前「J P 撤去報告」
市民力を信じて
想像力を働かせ丁寧に話し合うことが民主主義
介護サービスと共に生きる
さて、これからが問題だ

神奈川県公立中学校
教育労働者
津田憲一 18
J P 労組員
土田宏樹 20
出版取次 O B
九条の会下保谷市民の会世話人
小田桐孝子 22
編集者
小松厚子 25

▶債務危機に対するギリシヤ共産党の態度

人民の破綻の継続を許すな(二〇一五年六月二十七日)
七月五日の国民投票とギリシヤ共産党の立場(二〇一五年六月二十九日)

100

▶特集II——戦争法案を葬り去るために

米中逆転時代の到来と日本人民の進路
「自民党と安倍首相」からの仲間たちを撃つ
「この人に聞く」
閣議決定は違憲・無効である
安全保障関連法の成立を許すな

名古屋学院大学准教授/戦争をさせない
1000人委員会事務局次長
飯島滋明 52
編集者
広野省三 28

▶社会主義の旗を堅持するキューバ

キューバと米国の国交正常化の動きをめぐって

国際政治研究
沖江和博 80

▶「統・拉致問題で歪む日本の民主主義」

「家族会」強硬派がもたらした「空白の二年」

琉球大学
名誉教授
高嶋伸欣 155

▶状況2015夏

経済——米金融覇権ゆさぶるA—B——資本は残り少ない
市場めがけ殺到する
労働——六〇年目の春闘を歴史的に読み解く——初心に立ち返って
運動の再構築を
原発——二つの司法判断——高浜と川内、何が違うのか
たんぼぼ舎副代表
演劇——足尾からいまを照らします——文字座「明治の極」
(宮本研作・高瀬久男演出)
元労組書記
美術——鎌倉の美術館が無くなる——(宮本研作)「公共概念」の消滅
日本現代美術
思想史研究
山下勇男 104
吉良寛 108
山崎久隆 112
長島信也 118
宮田徹也 124

▶HOWS講座から

時代閉塞のなかで生き、考える若者たち

元横浜市立大学教授
中西新太郎 132

▶読書ノート

古関彰一著『平和憲法の深層』 衆・参憲法審査会 傍聴者 二谷隆太郎 164
加部洋祐著『歌集』 亞天使 編集者 武井美子 166
企画・編集 福岡市文学 中野秀人著『中野秀人作品集』 戦後文学ゼミ会員 H O W S 松岡慶一 168
振興事業実行委員会 企画 編集 福岡市文学 中野秀人著『中野秀人作品集』 戦後文学ゼミ会員 H O W S 松岡慶一 168
『時代』に抗する——ある「活動者」の戦後期(杉本昭典著) / 『人権と生活』 Vol.40(在日本朝鮮人人権協会編) / 『座間味旅日記』(津田憲一聞き書き) 170

▶新連載

短歌——羽搏き——中島武明のノイズ作品に寄せる 歌人 加部洋祐 131
川柳——笑歌—— 笑い 茸 78
嘘つき男、他

▶文庫発掘

『新編昭和二十年東京地図』(文・西井一夫 写真・平嶋彰彰) 飯島 聡 130

▶映画再見

『スパルタカス』(スタンブリック監督) 林 輝一 163

▶連載

放射能汚染と向かい合ったための基礎知識 ④ 今中哲二 117
原発事故被災者の声 ⑧ 國分富夫 123
東日本大震災・壊滅地区復興委員だより ⑧ 波来土の漫画館 金野正晴 154
イラスト通信 波来土 103
広浜綾子 19

▶表紙の絵について

『ネコも核・戦争 反対』 画家 阿部正義 5

▶読者会から
千葉／東京西部

172

▶デザイナーの独り言

追川恵子 176

編集後記 176

